境港市議会だより

つなぐ

第22号
2021年8月1日発行
鳥取県 境港市議会

令和3年6月定例会(補正予算)……P 2
令和3年6月定例会(議決結果)……P 3
一般質問……P 4
閉会中の常任委員会の開催状況……P17
議会トピックス(市民交流センター現場視察など)……P18

(水木しげるロードを走る聖火ランナー)

UD FONT by MORISAWA

https://www.city.sakaiminato.lg.jp/ 境港市議会 検索

令和３年 ６月定例会（令和３年度補正予算）

境港市議会では、６月１日から２２日間の会期で６月定例会が開かれました。「令和３年度一般会計補正予算」など予算５議案、「境港市印鑑条例及び境港市手数料条例の一部改正」など条例５議案および、「農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について」などその他７議案、「農業委員会委員の任命について」など人事１１議案が上程されました。審議、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決、同意、承認されました。提出された陳情１件と、３月議会で継続審査となった陳情１件は、審議の結果いずれも不採択となりました。その他、委員会提出議案１件が原案のとおり可決されました。

議決結果はＰ３に掲載しています。また市議会ホームページでもご覧になれます。
一般会計補正予算から、主な事業を紹介します。

境港市防災行政無線昭和町拡声子局設置事業

水産物直売センター周辺を放送範囲とする
防災行政無線の拡声子局の設置費用。

220 万円

境港市水産物直売施設機能強化支援事業補助金

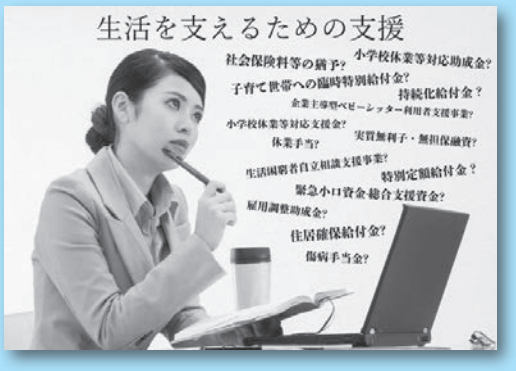
水産物直売センターのトイレや駐車場の
バリアフリー化費用の一部を補助する。

767 万円

運動部活動地域移行実践研究事業

中学校のハンドボール部、陸上競技部で、
休日の活動を地域のクラブチームへ
試験的に移行するモデル事業

154 万円



新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金給付事業

総合支援資金の貸付を利用できず、一定要件を
満たす生活困窮世帯に対し、給付金を支給する。

1,285 万円

令和３年６月定例会　議決結果

◆議　案（人事）

番　号	案　　件	議決結果
第41号	監査委員の選任について	同　意（全会一致）
第42号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同　意（全会一致）
第56号 〜 第64号	農業委員会委員（９名）の任命について	同　意（全会一致）

◆議　案（予算）

番　号	案　　件	議決結果
第38号	専決処分の承認を求めることについて【令和３年度境港市駐車場費特別会計補正予算（第１号）】	承　認（全会一致）
第39号	専決処分の承認を求めることについて【令和３年度境港市土地区画整理費特別会計補正予算（第１号）】	承　認（全会一致）
第43号	令和３年度境港市一般会計補正予算（第２号）	原案可決（全会一致）
第44号	令和３年度境港市下水道事業費特別会計補正予算（第１号）	原案可決（全会一致）
第65号	令和３年度境港市一般会計補正予算（第３号）	原案可決（全会一致）

◆議　案（条例）

番　号	案　　件	議決結果
第40号	専決処分の承認を求めることについて【境港市税条例等（一部改正）】	承　認（全会一致）
第45号	境港市特別医療費助成条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第46号	境港市印鑑条例及び境港市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第47号	境港市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）
第48号	境港市地方活力向上地域等における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決（全会一致）

◆議　案（その他）

番　号	案　　件	議決結果
第49号	鳥取県西部広域行政管理組合の共同処理事務及び規約を変更する協議について	原案可決（全会一致）
第50号	財産の取得について【市民交流センター舞台照明器具一式】	原案可決（全会一致）
第51号	財産の取得について【コンサートグランドピアノ一式】	原案可決（全会一致）
第52号	損害賠償の額の決定について【下水道工事での上水道管破損事故による損害賠償額の決定】	原案可決（全会一致）
第53号	市道の路線の廃止について【渡２４号線外２線】	原案可決（全会一致）
第54号	市道の路線の認定について【渡２４号線外２線】	原案可決（全会一致）
第55号	農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	原案可決（全会一致）

◆陳　情

番　号	案　　件	議決結果
第2号	屋内退避における新たな知見に基づいた避難計画の見直し検討を求める陳情	不採択
第3号	ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、２０２２年度政府予算に係る意見書採択の陳情	不採択

◆委員会提出議案

番　号	案　　件	議決結果
第2号	原子力災害時の屋内退避の効果について日本家屋の現状に即した調査研究を進め、より効果のある広域住民避難計画作成のための方針等を早急に示すことを求める意見書の提出について	原案可決

このほか報告が10件ありました。

市政を問う

議員13人が一般質問（各個質問）を行いました。

【一口メモ】

議会だよりの質問ページは、各個質問を行った１議員については最大１ページとしています。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりでは、スペースの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。６月議会は、すべて各個質問です。

ページ	質問事項	質問議員
5	①子どもの権利が守られ体罰等によらない子育ての取り組みについて ②本市の主権者教育の取り組みについて ③海辺の賑わい創出について	足田　法行
6	①カーボンニュートラルの推進について ②本市の教育行政について	田口　俊介
7	①境港市のまちづくり計画について ②生活困窮者支援について	荒井　秀行
8	①デジタル関連法について ②島根原発２号機の再稼働について ③危険家屋の撤去などの対応方針について	長尾　達也
9	①市民交流センターについて ②消防団員の処遇改善について	米村　一三
10	①伯州綿事業について ②台場公園慰霊塔について	加藤　文治
11	①海洋プラスチックごみ問題について ②地域の社会変化に対応した公民館のあり方について	築谷　敏雄
12	①原子力防災計画について ②環境改善施策の充実について	景山　　憲
13	①一般廃棄物の処理について ②マイナンバーカード等を活用した行政サービスについて	平松　謙治
14	①困った人に優しい政治を求めて～滞納処分のあり方について ②ごみの減量化と除雪事業に対する協働の推進について	安田　共子
15	①三つの港の現状について ②ＧＩＧＡスクール構想及び義務標準法について	松本　　熙
16	①ウィズコロナ、アフターコロナについて ②ＧＩＧＡスクール構想について	吉井　　巧
17	①農業振興について	永井　　章

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

子どもの権利が守られる取り組みは

公明党
足田　法行　議員

市長　親のストレス軽減へ相談・訪問を実施

【足田】子どもの権利が守られ、体罰によらない子育ての取り組み状況は。

【市長】取り組みとして、乳幼児健診や関係機関における子育て相談で助言を、また保護者のストレスの軽減をはかるための子育て世代の訪問支援をしている。市民への広報として、ホームページの掲載、ポスター、リーフレットの掲示などをしている。

【足田】広報だけでなく、学校や地域での講演セミナーなどお願いしたい。

主権者教育の取り組みは

教育長　社会参画する意義や価値を見出していく

【足田】本市の主権者教育の現状は。

【教育長】選挙管理委員会と協力し、選挙や政治に関する冊子の配付、社会科授業において民主政治や選挙のしくみなどの学習をしている。中浜小学校では、児童会活動を復活させ、自治力を高める取り組みも行なっている。ワークショップなど子どもたちが地域活動に積極的に参画することを通して、地域に関心を持ち、社会参画する意義や価値を見出していくものと考える。

地域社会活動に取り組む児童

美保湾の海辺の賑(にぎ)わい創出は

市長　ビーチスポーツパーク境港に協力する

【足田】海辺のスポーツ振興による賑(にぎ)わい創出について問う。

【市長】地元有志が主体となり、新屋町の海岸で、6月5日より「ビーチスポーツパーク境港」が開設された。この活動に協力していくとともに、境港管理組合の「境港長期構想」にあるマリーナ機能の強化、海釣り施設の整備、親水性のある海浜確保などの施策の実現に向け協力していきたい。

【足田】この地域に本市のスポーツ拠点の開設を願う。

海辺のスポーツ

ＣＮＰ形成計画を圏域の活性化へ

市長　計画策定には積極的に参画していきたい

公明党
田口　俊介　議員

【田口】ゼロカーボンシティについて、環境基本計画策定におけるタイムテーブルや体制、留意する事柄は。

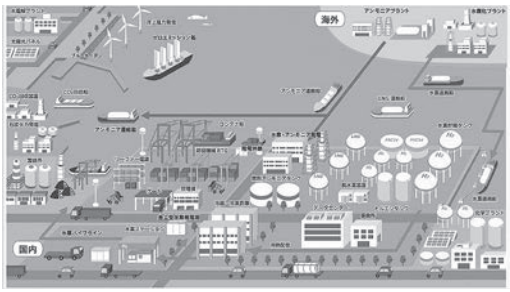
【市長】環境基本計画の推進体制については従来の環境審議会に加え、環境やエネルギー関連事業者をメンバーとする環境政策懇談会を立ち上げた。留意すべき点として脱炭素社会の実現を最重点に置きたい。

【田口】カーボンニュートラルポートの形成計画は、中海圏域全体の活性化と生き残りに大きな意味を持つと考えるが。

【市長】カーボンニュートラルポートの取り組みは境港においても遅れることなく変化に対応する必要があると認識している。圏域全体の活性化につなげるためにも、しっかりと取り組む必要があると考える。

【田口】計画策定にあたっては本市も主体的にかかわっていくべきと思うが。

【市長】本市も積極的に参画したい。



ＣＮＰ（カーボンニュートラルポート）形成のイメージ図
（国土交通省資料）

ＨＰＶワクチンについて情報活用を

教育長　児童生徒・保護者に対し広く情報提供したい

【田口】ＳＮＳを活用したいじめ防止や早期発見のためのシステム導入状況は。

【教育長】平成30年6月より中学校で運用を開始した。本システムでいじめが解決した事例もあり、ある程度のいじめの抑制にもつながっていると考える。

【田口】1人1台の学習端末へのいじめ防止相談ツール導入について所見は。

【教育長】現在導入のシステムはスマートフォンなどでＱＲコードを読み取る必要があるが、配布した端末にはコードを読み取る機能があるため、新たなサービスの導入は考えていない。

【田口】ＨＰＶワクチンについて、医師などで作る団体より啓発資材が全ての中学校に配布される。市教委として積極的な活用を呼びかけてもらいたいが。

【教育長】対象となる児童生徒と保護者に対し、広く情報提供を行った。今後も健康推進課と連携して情報発信したい。

医師などによるＨＰＶワクチン啓発団体「みんパピ！」作成のポスターと冊子

産業中央線の改修計画を提案する

市長　鳥取県との協議の中で議論したい

自民クラブ
荒井　秀行　議員

【荒井】都市計画マスタープラン作成のための、校区単位の「まちづくりワークショップ」は、住民の意見を汲み取ろうとする画期的なワークショップであったと思う。次に行う会議を早急に実施することを要望する。

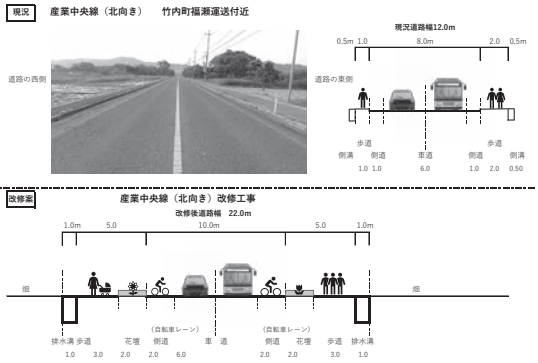
【市長】ワークショップはたいへん有効だと認識している。今後も幅広く、市民の声を傾聴し進める。

【荒井】実りある会議をお願いする。

今回の都市計画マスタープランの見直しに際し、環境美化と、人も自転車も安心して通行できる道で、避難道の充実と、農地用排水路の拡充も兼ねた産業中央線の道路整備計画について検討を要望する。

【市長】提案の計画は、大切な視点である。さらなる整備は難しいと思うが、鳥取県との協議の中などで議論してみたいと考えている。

【荒井】20年・30年先のまちのデザインを願う。



産業中央線の改修計画私案

子ども食堂を設置するための支援は

福祉保健部長　熱心な団体と福祉のまちづくりを研究する

【荒井】全国的に、「子どもの貧困」は大きな課題になってきており、「子ども食堂」や「公共冷蔵庫の設置」などボランティア団体の輪が広がってきている。本市の状況はどうかうかがう。

【市長】余子公民館の野菜の朝市は無償で地区の方に野菜を提供。介護老人保健施設「はまかぜ」は月に1回子ども食堂を開設。本市では生活困窮家庭への学習支援事業をこうほうえんに委託し、土・日に余子公民館で学習教室を実施している。

【荒井】障がい者の就労施設「就労継続支援B型施設」は就労希望者に対して不足気味では。

【市長】県西部のB型施設は増加傾向で、総量規制を試行的に実施している。

【荒井】今後子ども食堂が必要と思う。

【福祉保健部長】本市は、福祉活動も盛んで、熱心な団体も数多くあり、そのような団体と福祉のまちづくりを研究していきたい。

開設が待たれる子ども食堂

デジタル化で個人情報は守られるか

日本共産党境港市議団
長尾　達也　議員

【長尾】デジタル化は個人のプライバシー保護と一体化で進められなくてはならないが、個人情報保護法を見直し、後退させている。個人情報保護条例を弱めることなく公明公正な市政を堅持されるよう求める。

市長　本市の制度運用が維持できるよう努める

【市長】「個人情報保護」の一元化で、今後、国が示してくる共通ルールなどの指針が、市の個人情報保護条例の規制緩和につながるようであれば、国に申し出るなど、本市の制度運用が維持できるよう努める。

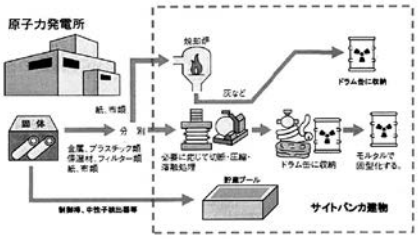
中電に原発を運転する資格があるか

【長尾】近く島根原発２号機「設置変更許可」が下りる可能性がある。原発の稼働の是非が問われる。今回のサイトバンカ巡視未実施の虚偽報告など、不祥事を繰り返す中電に危険な原発を運転する資格はないと思うが。

市長　安全文化に懸念、教訓が生かされていない

【市長】度重なる不適切事案は、安全文化の醸成に懸念を抱かせる。過去の教訓が生かされていないと感じる。

【長尾】「自らの巡視不備」に真摯に取り組む姿勢を見せない中電に、原発を運転する資格はない。



巡視不実施が１３０日もあった
島根原発サイトバンカのイメージ図

危険家屋、責任もって解決を

【長尾】通行人が多い市道沿いに危険家屋がある。放置できないと思うが、市の対応方針は。

市長　人命にかかわる問題、責任をもって対応する

【市長】特に危険な家屋は、「特定空き家」に認定し、補助金を活用した解体を指導している。一方、危険度が高いが、解体に応じない場合や所有者が確知できない場合、慎重に判断のうえ、条例にもとづく行政代執行を視野に対応したい。

【建設部長】最終的には代執行を含め、安心安全は確実に確保しないといけないと考えている。

市内に散見される危険家屋（イメージ）

交流センターの詳細説明が必要だ

教育長　市民の理解が進むよう努めたい

会派　きょうどう
米村　一三　議員

【米村】市民交流センターの工事が進行している。この施設の基本方針やさまざまな機能、財源内訳などについて市民の理解が進むよう努めることが必要と感じる。

【教育長】これまでにも、市報で「広報境港市民交流センター」の定期的掲載、ホームページへの月末時点での工事進捗状況の掲載、毎月の「境港市民図書館だより」へ関連情報の掲載、境港市図書館協議会委員の皆様による新図書館の工事途中の現地視察などを行い、施設の機能や運営などの周知をはかってきた。

今年度は、市民交流センターのPRを目的としたスタートアップ事業の実施、この施設の利活用について考えるワークショップの開催も予定しており、市民の皆様の事業への理解が進むよう努める。

指摘のあった財源内容については、市報・ホームページで情報提供したいと考えている。

着々と建設が進む市民交流センター

消防団員確保には処遇改善が必要だ

市長　出動報酬の創設を近隣と比較しつつ検討する

【米村】全国の消防団員の減少が続いており、本市でも同様の状況と考える。

年額報酬や昼夜を問わず危険をともなう消火活動に従事した際に支払われる出動手当が少ないとの声もあり、消防庁はその実態調査に取り組んだとのことだ。本年4月、消防庁は市町村が支払う報酬の基準を示し、引き上げができるよう条例の見直しを要請したとのことだ。本市は見直しを進めているのかうかがう。

【市長】本市の消防団員は4月現在で条例定員に満たず、減少傾向にある。

本年の消防庁通知文で、出動報酬の創設や、年額報酬・出動報酬基準の策定、報酬などの団員個人への直接支給、消防団運営費の適切な予算計上などが、消防団員の処遇改善に向け取りまとめられた。

本市では年額報酬などは基準を満たしていることから、出動報酬の創設などについて検討したいと考える。

消防車が格納されている第２分団の建物。
出動後なのか消防ホースが干してある。（右側柱）

伯州綿事業の今後の進展と展望は

自由市民と共に
加藤　文治　議員

市長　伯州綿事業の継続・発展につなげる

【加藤】伯州綿事業は平成21年度から本年度まで13年間継続しているところだ。当初は緊急雇用対策としてスタートし平成27年度以降は、農業公社が製品開発や販売を担っており、贈呈品の販売収入が事業費に充てられ、収入の多くは市による購入金となっている。市が購入した費用負担はPRを含め2140万円余となっている。今後も市費を投入して事業を継続されるのか、するとしたらコンサルタント事業者のノウハウを活用する考えはないか所見をうかがう。

【市長】市と農業公社では綿や糸を安定供給できる体制を維持し継続発展につなげたいと考える。伯州綿のブランディングなどについては、今後、伯州綿の普及や民間事業者の商品開発、販売を促進していくための新たな取り組みとして、必要だと認識している。

栽培サポーターが耕作している伯州綿畑

慰霊塔の国指定有形文化財に向けて

教育長　松江市との協議は難しいと考える

【加藤】台場公園の慰霊塔は市の指定文化財となっており、国指定の登録文化財より優先順位は高く国指定有形文化財になりうる建造物と考えている。国の有形文化財指定を得るための行動をしてはどうか、市長の見解は。

【市長】県が慰霊塔の現地調査した結果、国へ情報提供する重要文化財の候補物件に加えることは難しいと聞いている。

【加藤】美保関沖事件にまつわる慰霊塔が、美保関町五本松公園にも現存している。太平洋戦争の遺構であり、昨年確認された駆逐艦「蕨（わらび）」の水中遺構とあわせ平和教育の題材として永久保存しなければならないものと思う。このことについて松江市と協議をしてはと考える。所見をうかがう。

【教育長】松江市では慰霊塔の解体を含めて関係者と協議を行っていると聞いており協議を行うことは難しいと考えている。

美保関町馬着山より平和祈念塔を望む

海洋プラスチックごみ問題について

市長　環境基本計画で明確に位置づけ強化をはかる

自民クラブ
築谷　敏雄　議員

【築谷】海洋プラスチックごみ問題における対策や現状についてうかがう。

【市長】自然環境に流出してしまったプラスチックを含む「ごみ」については、海浜清掃事業やボランティアによる清掃活動により、回収や処理を行っている。また、本年度から米子市と連携し、海岸線の環境保全と海洋プラスチックごみ問題に関する啓発を目的とした「美保湾・弓ヶ浜環境保全連携事業」を実施する。

海洋プラスチックごみ問題については、本年度策定する環境基本計画の中で明確に位置づけ、取り組みの強化をはかる。

【築谷】具体的なプラごみ回収へ向けての対策は。

【市長】河川などにおけるプラごみなどの回収を試験的に実施するため、必要資材の検討を行っている。本年度中に実証試験を行い、令和4年度の事業化に向けた検討を考えている。

弓ヶ浜一斉清掃で収集されたプラスチックごみなど

コミュニティーセンター化の考えは

教育長　現行の公民館で役割を十分果たせると考える

【築谷】公民館のコミュニティセンター化への考えは。

【教育長】倉吉市では地区13公民館が今年4月よりコミュニティセンターとなり、地域住民が課題解決に取り組む地域づくり活動の拠点施設に移行した。本市では高齢者福祉や地域防災活動などの地域課題について、各事業を担う所管課では互いに連携しており、現行の体制でも公民館が期待される役割を十分果たせると考えている。

【築谷】コミュニティセンター化をめざすとすれば運営についての考えは。

【教育長】運営は、地域づくりに取り組む地域自治組織が市と協定を締結して指定管理を行う方式が一般的だと考えるが、松江市では、公民館のまま地域の自主的な運営にゆだねる「公設自主運営方式」が採用されている。本市では住民のニーズを取り入れたより良い運営方式を研究したいと考えている。

倉吉市（地区公民館）
コミュニティセンター化計画
市民向け広報チラシ

安全協定に「事前了解」の条項を

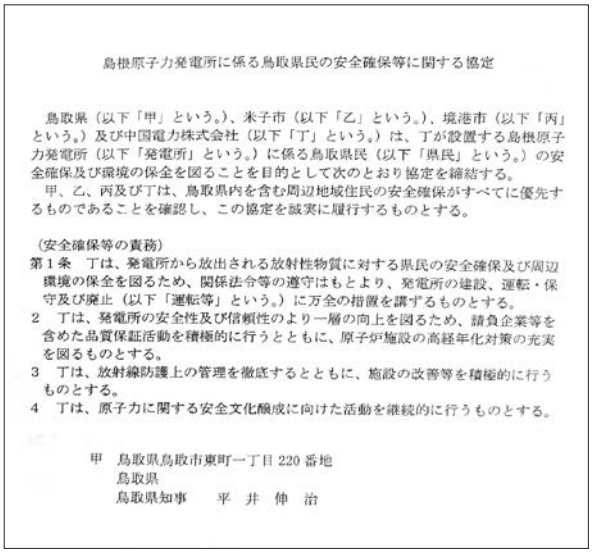
市長　継続して改定に向けて取り組んでいく

自由市民と共に
景山　憲　議員

【景山】島根原子力発電所2号機についての原子力規制委員会の審査が終了し、島根原発2号機の再稼働が現実のものとなってきた感があるが、改めて、「島根原子力発電所に係る鳥取県民の安全確保等に関する協定」の改定にどのように臨むのかうかがう。

立地自治体との間の協定では、原発の計画の重要な変更などの場合の「事前了解」の項目がある。本市が締結している「安全協定」では「事前報告」となっている。なぜ「安全協定の内容が立地自治体と同一」とならないのか。

【市長】中国電力と締結している「安全協定」は、再三改定の申し入れを行い、協議を続けている。改定について回答がなければ、今後、重要な議論を進めることが難しいことは、中国電力も理解されていると思う。引き続き真摯（しんし）な対応を求めていく。



島根原子力発電所に係る鳥取県民の安全確保等に関する協定

（安全確保等の責務）
第1条　丁は、発電所から放出される放射性物質に対する県民の安全確保及び周辺環境の保全を図るため、関係法令等の遵守はもとより、発電所の建設、運転・保守及び廃止（以下「運転等」という。）に万全の措置を講ずるものとする。
2　丁は、発電所の安全性及び信頼性のより一層の向上を図るため、請負企業等を含めた品質保証活動を積極的に行うとともに、原子炉施設の高経年化対策の充実を図るものとする。
3　丁は、放射線防護上の管理を徹底するとともに、施設の改善等を積極的に行うものとする。
4　丁は、原子力に関する安全文化醸成に向けた活動を継続的に行うものとする。

甲　鳥取県鳥取市東町一丁目220番地
　　鳥取県
　　鳥取県知事　平井伸治

再生可能エネルギーの地産地消を

市長　脱炭素社会実現に向け鋭意検討する

【景山】改正地球温暖化対策推進法「2050年脱炭素社会実現」が成立し、地方自治体もこれまで以上に再生可能エネルギーの普及へ取り組みの強化が求められている。本市の電力供給契約では、90％強が中国電力、その他ローカルエナジーなどが9.6％となっている。「再生可能エネルギーの地産地消」の促進の観点からも太陽光発電など再生可能エネルギー電力の使用へ見直していくことが必要である、見解は。

【市長】公民館や集会所など消費電力が小さい施設には地元再生可能エネルギー売電業者から供給を受けている。市庁舎や小中学校など大規模施設については、入札を実施しているが価格差があり、太陽光発電など再生可能エネルギー電力使用についての見直しは現在のところ考えていないが、脱炭素社会実現に向け引き続き鋭意検討する。

中野町内の太陽光発電施設

可燃ごみの持ちこみは従来どおりか？

会派　きょうどう
平松　謙治　議員

市長　今後も清掃センターで受け入れる

【平松】西部広域行政管理組合では、令和14年度を目標にごみ処理効率化をはかるために施設を1カ所に集約する計画がある。それに関連し、本市では、収集運搬体制の構築、中継施設の必要性の検証、分別区分など課題がある。今後、清掃センターのストックヤード化などは、広域処理と整合性をもって行う必要がある。本市としての考えは。

【市長】組合では、令和5年度末施設用地取得をめざす。本市では、用地の選定状況を見極め課題に対応する。市民が直接持ち込む可燃ごみの受け入れは、継続して実施する。

【平松】広域の施設完成まで11年間ある。市民の意見を聞き、広域化に至るまでの本市のごみ処理計画の見直しが必要である。今後の予定は。

【市民生活部長】来年度完成を目標に取り組む。

焼却場としての役目を終えた
清掃センター

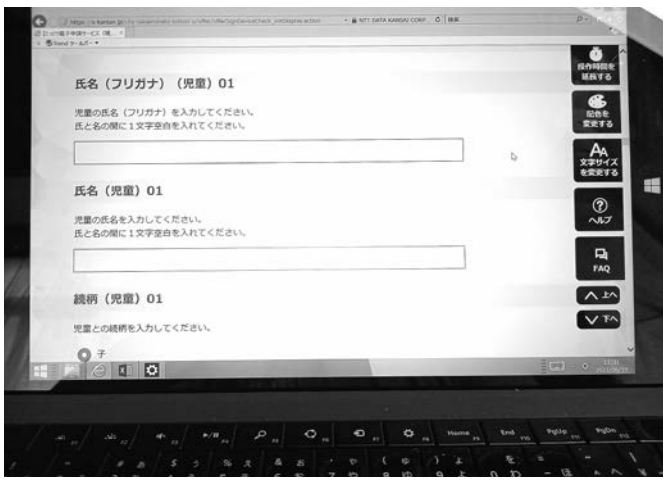
児童手当のオンライン申請の状況は

市長　当初、テスト画面を公開する不備があった

【平松】マイナンバーカードを活用した児童手当の現況届のオンライン申請が開始し、私自身が申請を行ったがシステム不備があった。その理由は。

【市長】マイナポータルのシステムからとっとり電子申請サービスに移ったため、電子申請様式を職員が独自で作成する必要があり、その途中段階のテスト画面を公開した。今後同様のミスが起きないよう事前確認の徹底を指示した。

【平松】オンライン申請の目的は、利用者の利便性と事務処理の効率化にある。自分で申請をし、利便性は感じた。しかし、現状のシステムでは、申請者が入力した情報と行政の持つ情報の自動確認作業や連動性がなく、1件1件職員が確認し事務量が増える。個人情報の保護など課題はあるが、今後は本当の事務の効率化・削減が進むことを期待する。



直接テキストデータを入力しなければならない
とっとり電子申請サービスの入力画面

差押は行わず、納付計画立て直しを

市長

計画見直しや徴収猶予も可能 まずは相談を

日本共産党境港市議団
安田　共子　議員

【安田】滞納の解消に向け計画通りでなくても納付をしている人には差押は行わず、丁寧に事情を聞き取り、納付計画を立て直して自主的に納付してもらう努力を追求すべきでは。

【市長】公平性の観点から差押をする場合はあるが、納付が困難な事情がある方には必要に応じて納付計画の見直しなどを行う。コロナの影響で収入が減少した場合は徴収猶予も可能。まずは相談してもらいたい。

【安田】滋賀県野洲市のように、担当課に専門家を配置し、市独自の滞納処分の流れを構築し、滞納処分のあり方を見直す必要があるのではないか。

【市長】生活困窮で支援が必要な方、多重債務のある方には福祉課や消費生活相談室など、関係部署と一体で対応し、必要に応じ、弁護士や社会福祉協議会とも連携している。連携の結果、過払い金返還で市税滞納解消できた事例もある。

本市では夜間の
納税相談も行っています
お気軽にお問合せを

生ごみ・紙おむつの資源化推進を

市長

方法の研究、事業の周知で推進をはかりたい

【安田】可燃ごみ減量化のため、生ごみと紙おむつの分別収集システムの構築、家庭での生ごみ処理への助成、先行自治体が実施している「生ごみ出しません袋」無料配布などを検討しては。

【市長】生ごみは４５３世帯の協力で、年間約50ｔを回収し堆肥へリサイクルしているが、近年は協力世帯数が伸び悩んでいる。グループ回収にこだわらず本市に適した方法を研究していきたい。紙おむつは希望者の戸別収集を維持し、周知に努めながら利用者の増加をはかっていきたい。

【安田】自治会や自主防災組織、消防団などへ除雪計画やボランティアの必要性について説明し、除雪ボランティアの組織や報奨金の支払いなどを検討しては。

【市長】高齢者宅の除雪も含む生活支援サービス事業の周知をはかり、自治会やボランティアセンターなどと意見交換を行っていきたい。

現行の生ごみリサイクルグループの取り組み

漁港、港湾、空港の現状と課題は

市長　環日本海オアシス都市実現に向け頑張りたい

無所属
松本　熙　議員

【松本】漁港、港湾、空港、３つの港の現状と対応策、今後の活動をどのように進めるのか。

【市長】境漁港では水揚量の減少と新型コロナウイルス感染症の影響で、飲食店などでの需要の減少にともなう魚価安で水揚げ金額が落ち込んだ。

港湾では、コロナ禍前と比べ取扱貨物量が減少し、クルーズ客船は「飛鳥Ⅱ」が寄港したものの、緊急事態宣言により、以後の寄港予定の目途は立っていない。

米子鬼太郎空港は、東京便が1日2～3便の運航。ソウル便、香港便、上海便の国際線は、再開は未定である。

重要な社会基盤の漁港、港湾、空港と水産と観光資源を生かすまちづくりで、将来都市像である「環日本海オアシス都市」実現に向け、歩みを進めていく。そのためには、８の字ルートや高規格道路は、必ず実現しなければならないと考えている。

新ターミナルに初寄港した飛鳥Ⅱ

児童生徒の現状把握と適切指導を

教育長　課題を把握し、効果的な運用支援に努めたい

【松本】ＧＩＧＡスクール構想が約２カ月を経過。学校と家庭の現状は。

【教育長】児童生徒の端末利用については、４月開始予定が、設定作業に時間を要し、６月からスタートし、１人１台端末を使用した学習が本格的に行われることとなる。

【松本】児童生徒の中には、授業の進め方や学習効果などに不安を感じることもあると思う。授業を受ける児童・生徒の現状を、どのように掌握されているのか。

【教育長】これまでは、校長会や情報教育担当者会で、情報提供や意見交換を実施し、５月下旬には、ＧＩＧＡスクール構想についてのお知らせ文書を保護者に配布した。今後も引き続き、学校での運用状況や課題を掌握するとともに、情報教育担当者会などと連携し、効果的な運用ができるよう支援していく。

児童生徒に１人１台配布された端末

学生へ抗原検査キット配布を求める

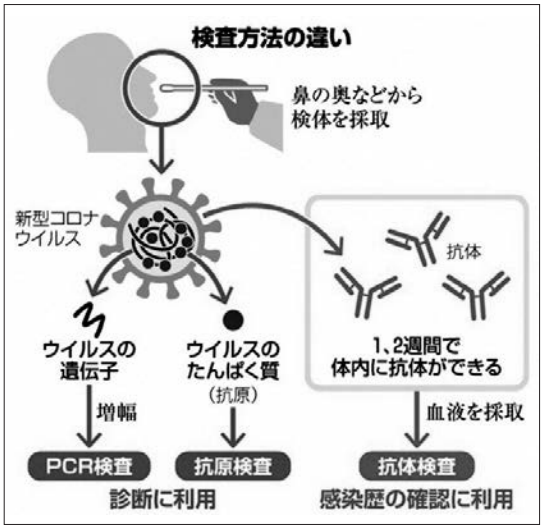
市長　1日も早いワクチン接種を推奨する

自民クラブ
吉井　巧　議員

【吉井】本市では、ワクチン接種が順調に進んでいる中ではあるが、まだまだ感染症への不安はなくならない。これから受験や就職活動で県外への移動を余儀なくされる学生や、親元を離れ県外で学業に励む学生が一時帰省する際など、安心して移動ができるよう、希望者へ抗原検査キットの配布を求める。あわせて、一生に一度の成人式に安心して出席してもらえるよう、PCR検査または抗原検査など事前検査を受けるための支援を求める。市長の見解は。

【市長】抗原検査は、PCR検査に比べ精度が劣り、必ずしもウイルスに感染していない証明にはならない。そのため本市では、1日でも早いワクチン接種を推奨する。本市出身で県外在住者へは、家族や知人からワクチン接種をするよう、声かけをお願いする。

成人式出席対象者へは、案内状の中でワクチン接種を呼びかけていく。



新型コロナウイルス検査方法の違い

教室のホワイトボード化を求める

教育長　学校現場の意見を聞き慎重に研究していく

【吉井】本年度より本市でも、GIGAスクール構想が本格始動し、児童生徒1人に1台端末が配備された。市内のほとんどの小中学校では黒板が使用されており、黒板を消す際のチョークの粉が端末の不具合につながるのではないかと危惧する。以前より、学校やPTAから要望のあるホワイトボード化は進んでいないが、市の見解は。

【教育長】端末を使用した学習が増える中、黒板やホワイトボードを使用した授業のあり方が変化していく。ホワイトボード化については、学校現場の意見を聞き、慎重に研究する。

【吉井】児童生徒の全ての端末に、いじめSOSアプリを導入することが、抑止力につながると考えるが、市の見解を。

【市教委事務局長】現状は、個別にQRコードを使用した通報システムを活用している。一律でのアプリ導入については、今後調査研究し対応していく。

黒板とホワイトボードを併用した授業の風景

伯州綿の取り組みについてうかがう

自民クラブ
永井　章　議員

市長　官民が得意分野を活かして取り組んでいる

【永井】伯州綿の取り組みについてうかがう。

【市長】市民栽培サポーターと協働で品質の良い綿づくりを進めているほか、高齢者支援など、多面的な取り組みを行っている。近年は、複数の民間事業者で商品開発が進められており、行政と民間が得意分野を活かしながら事業に取り組んでいる。今後は、民間事業者に商品開発や販路拡大を進めてもらい、市と農業公社は伯州綿の安定供給・魅力や特長を広く認知してもらう普及活動を行う。

伯州綿栽培状況

【永井】農業公社のできることは、文化の伝承では。また、遊休農地の利用促進につながるのか。

【市長】栽培の歴史や取り組みについて小学校などで普及をはかり、伝統的地域資源の継承に取り組んでいる。民間事業者による商品開発が進んだ際には、栽培面積を拡大する必要が出てくるので、遊休農地の利用につながると考える。

閉会中の常任委員会の開催状況

必要時に開催していた閉会中の常任委員会について、令和２年１１月から月１回（定例会開催月などを除く）の定例開催としました。

これにより、市政の重要案件について執行部から計画的に報告を受けることとなり、議会での議論の活性化につながっています。

期　日	委員会	議　題
R2.11.9	総務民教	●旧誠道小学校の現状報告について
	経済厚生	●境港市空家対策の取り組み状況について ●都市計画マスタープラン改定の進捗状況について
R2.11.17	総務民教	●島根原子力発電所２号機適合性審査の状況等について
R3.1.12	経済厚生	●新型コロナウイルスワクチンの接種について
R3.2.5	経済厚生	●住宅地貸付新制度（夕日ヶ丘）について ●第８期境港市高齢者福祉計画・境港市介護保険事業計画の進捗状況について ●「境港市障がい児者プラン（令和３年３月改定）」の進捗状況について
R3.4.6	総務民教	●境港市民交流センターの管理運営体制について
	経済厚生	●境港市土地開発公社経営健全化方針について
R3.5.10	総務民教	●境港市立学校教職員の懲戒処分について ●「鳥取県西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想案」のパブリックコメント実施について
	経済厚生	●空家所有者等への意向調査の集計について

境港市民交流センター　現場視察

■ 期　日
令和３年４月２日

■ 参加者
議員有志 10 名

内　容

建設途中の市民交流センターについて、現況報告ならびに建屋内部視察を行い、図書交流広場、エントランスホールなど鉄骨部分の建設前のタイミングで建設現場内を見学しました。

コンクリート外壁には、智頭杉で模様を付ける技法を用いており、地産地消が感じられるデザインになっています。

天井の張られる前の鉄筋コンクリート建屋ホール内に入り、内部から見る青空は今しか見られない光景でした。

境港市議会 特別講演
議会改革推進特別委員会主催

『開かれた議会を目指して』
～コロナ禍・メディア活用で市民と議会を盛り上げるには～

■ 講　師　一般社団法人境港観光協会会長
読売テレビ報道局兼制作局チーフプロデューサー
結城 豊弘氏

■ 期　日　令和３年５月２０日
■ 会　場　境港市議会議場
■ 参加者　議員１６名

内　容

結城氏が政局、時事問題から地方創生などの報道に携わってきた経験と知見から「市民が知る・知りたい開かれた議会」になるにはどうすればいいのか、実践例を紹介するとともに、具体的なメディアの活用方法などのアドバイスがありました。議会改革で重要なことは「まずチャレンジしていくこと、そしてアタックし続けること」であると本市議会に期待を寄せられました。

また、境港市出身でもある結城氏は、ふるさとへの思いとして、「地域の文化芸術振興に貢献していきたい」との抱負を述べられました。

島根原子力発電所　現地視察について

■ 期　日
令和３年５月27日

■ 参加者
議員有志12名

内　容

原子力規制委員会による２号機再稼働の審査合格が迫る島根原子力発電所の視察を行いました。

巡視業務の未実施があったサイトバンカ建物内や３号機建屋内に入り視察しましたが、２号機建屋内は工事中のため立ち入りできませんでした。

美保基地状況説明会に参加

■ 期　日
令和３年６月４日

■ 参加者
議員有志10名

内　容

コロナ禍により、昨年度から航空祭などの諸行事を美保基地では中止してこられました。現在の状況を知ってもらいたいとのことで、議会に対して説明会の案内を頂き、議員有志で参加しました。

基地資料館で映像を見ながらの概要説明があり、その後、高さ４４ｍの新管制塔から基地内を見渡すと、配備予定の空中給油・輸送機の整備などに使用する格納庫や、燃料備蓄施設の建設の様子を見ることができました。

その後、駐機中のC-2輸送機の内部を見学し、さらに美保基地内にある陸上自衛隊分屯地で大型ヘリの装備や活動の説明を受けました。

レインボーと客船　　2015年　撮影：竹田誠司　様

早く再会したい光景　　2015年　撮影：大濱博幸　様

あとがき

梅雨が明け、東京2020オリンピックのまっただなか、今年も暑い夏がやって来ました。みなさまいかがお過ごしでしょうか。

今年も、新型コロナウイルス感染の影響でさまざまな行事や事業が中止・延期となり、これまでは当たり前のように参加していた祭りやイベントの必要性に改めて気づかされました。ワクチン接種が進み、平常な生活を取り戻した時には、当たり前を当たり前と思わず些細なことにも「感謝」を伝えられる新たな時代へと「進化」していることを望みます。

今月は、各地区へうかがい「市民と議会の懇談会」を開催いたします。多くの皆さまと出会い意見交換できることに、ワクワクが止まりません。多くのみなさまのご参加を心よりお待ちしております。

（吉井）

【発行責任者】
議　長　森岡　俊夫
【広報部会】
部会長　安田　共子
副部会長　米村　一三
足田　法行
加藤　文治
吉井　巧

発行／境港市議会
〒684-8501　鳥取県境港市上道町3000
TEL：0859(47)1097　FAX:0859(47)1110